

御 ONJUKU 宿

No.513

新春号

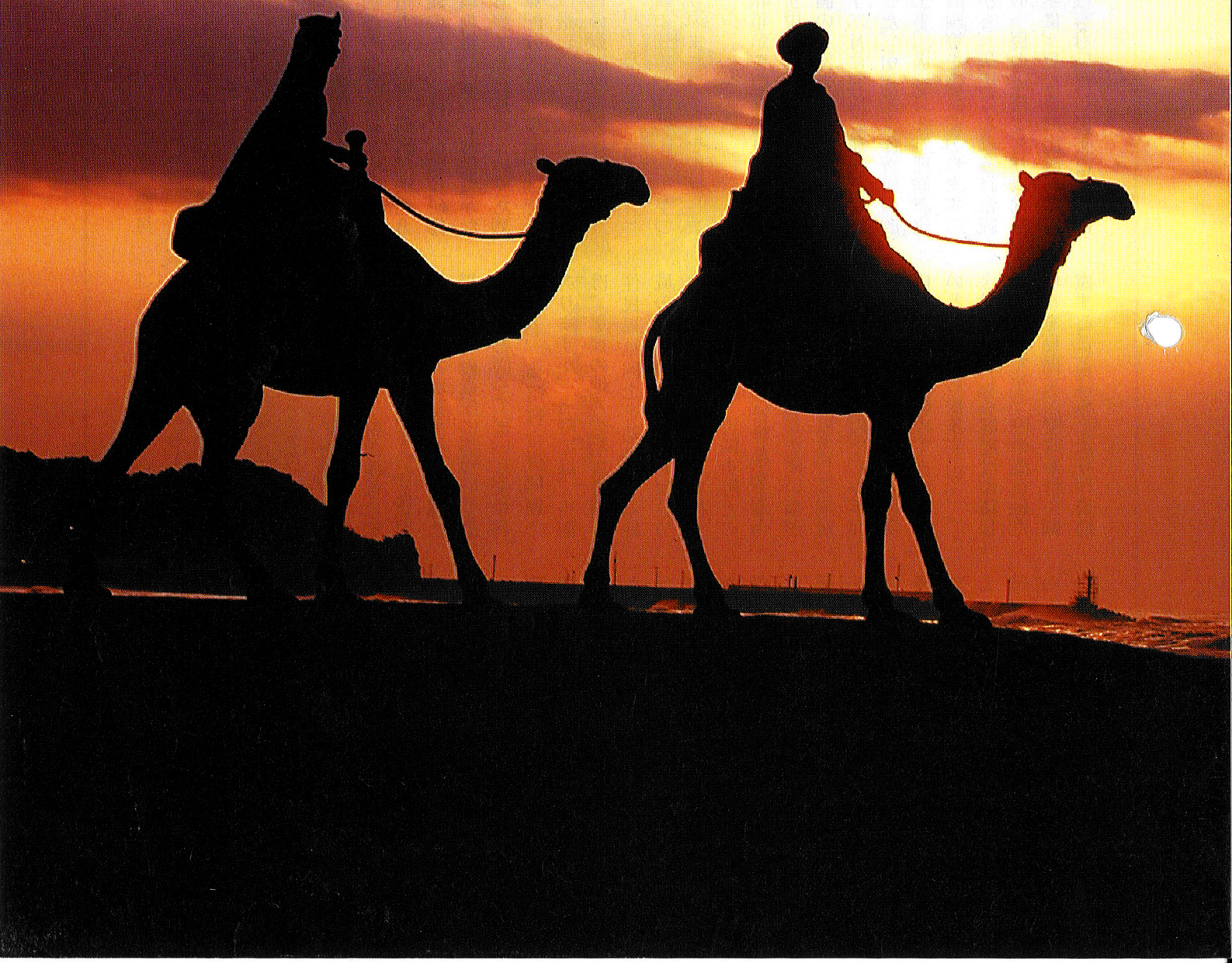
2006.平成18年

新しき新年を迎え

町民の皆様

ご多幸を心より

お祈り申し上げます



―新年挨拶―

『小さく効率的な町政実現を目指して』



あけまして、おめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新年を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

迎えた平成十八年は、国庫補助金の廃止や交付税改革、また税源移譲による地方の国への依存の低下、その一方で、地方の自立、自責での歳入確保による施策の展開といった、地方財政の転換の年と言える

のではないではないでしょうか。そこで新年度を分権時代

を踏まえた財政構造の質的転換と意識改革の年度と位置づけ、従来から実施しております行政評価や一般財源枠配分方式に加え、今後一層、想定される財源不足という状況を踏まえ、単年度対応の予算ではなく、継続可能な財政運営を見据えた予算編成を行います。さらに当町では、新たな

自治体の在り方に即応できる創造力と的確な問題解決能力育成のため、様々な職員研修に取り組むほか、個性豊かなまちづくりを進めていくため、予算配分された事業だけでなく、厳しい財政状況の中での職員の意識改革を目的とした「ゼロ予算事業」を実施し、職員の知恵と汗によって手づくりのまちづくりを推進します。

昨年からの継続事業であります中学校改築事業は、全体計画の一部である新校舎が昨年十二月に完成の運びとなりました。引き続き体育館の改築工事、広域ゴミ処理施設建設計画等を控えておりますことから、歳出における経常経費の一層の圧縮とスリム化を基本に、更なる歳出改革の徹底に努力いたしますとともに、

可能な限り自主財源確保に努め、真に町が果たすべき役割・施策範囲および水準を明確にし、自らの責任に基づいて事業展開を図つてまいります。

なお、市町村合併問題であります。当町では、当面は、単独の地方自治を目指し、住民福祉向上を基軸に、「地域の均衡ある発展」を図りつつ、行政運営に邁進して行くものの、今後、近隣市町との合併を視野にいれたうえで、町民各位のご意見を伺いながら町議会と一致協力して、新合併特例法の期限である平成二十一年までに、再度、合併に向け協議を進めてまいりたいと考えております。

財政は厳しく課題は山積しておりますが、町の置かれた現状を見据え、財政事情を考慮することはもとより、自助

努力するとともに町総合計画の見直しを含めた質的転換を図り、出来るものから一つ一つ着実に実行することに努めます。また、日々変化する社会情勢に柔軟に対応できる行政運営実現のため、職員一同全力を傾注してまいり所存でありますので、町民皆様の更なるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに町民皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

本年も皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

御宿町長

井上七郎



新年あけましておめでと
うございます。

輝かしい新春を皆様と
もに迎えられましたことを、
御宿町議会を代表して心よ
りお慶び申し上げます。

皆様方には、日ごろより
町政運営、並びに議会運営
に対する温かいご理解と絶
大なるご協力を賜り、深く
感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年は国において
小泉政権による第三次小泉
改造内閣が発足し、税制の
見直しや年金問題、さら
には「官から民へ」といつた
一層の構造改革の推進が行
われています。そのなかで
地方自治体の自由度を高め、

全般を見直し、交付税総額
が抑制されます。私たちが
属している全国町村議会議
長会をはじめとする地方六
団体では、地方財政は引き
続き大幅な財源不足が生じ
ているなど極めて厳しい状
況であることを踏まえ、国
と地方とのより良い方策を
提言しております。

町行政では、「最小の経費」
定数の削減や町民が納得
きる環境を目指すため、議
員で「ふるさと見直し隊」
を組織し、町行政の効率化
など議員の立場から幅広く、
積極的な活動を行っており
ます。

PTAの皆さんや役場職員
のご協力、微力ながら町議
員により引越しを終え、い
よいよ一月の始業式から新
校舎での授業が始まります。
それに伴い、給食も改装さ
れた御宿町学校給食共同調
理場で調理し御宿中学校と
御宿小学校、岩和田小学校
に配送されますが、新しい
教育環境の中で未来を担う
生徒の皆さんのさらなる飛
躍を大いに期待いたします。

「ふるさと見直し隊」

町のために幅広く積極的な活動を行います。

住民のみなさんにより身近
で、地域の特性にあった施
策を展開するため、国と地
方の役割を見直し財政面で
の自立をはかり、真の地方
自治の確立をめざす三位一
体の改革の内容も明らかに
なり、約四兆円の国庫補助
負担金の廃止・縮減と概ね
三兆円規模の税源移譲が決
定され、地方交付税につい
ても、その財源保障機能の

で「最大の効果」として町
基本構想と基本計画に沿っ
た行政改革を推進していま
す。これは住民のみなさん
と協働で取り組まなければ
ならないものや、住民サー
ビスや行政組織の見直しな
どを行っており、十七年度
からゼロ予算事業や町職員
の職務能力の強化を行って
います。

町議会においても、議員
内で組織していた一部事務
組合等の事務・運営費負担
割合・議員数などについて、
適正に運営されるよう提言
してまいります。

また、町の念願でありま
した御宿中学校が完成し、
御宿町議会議長
伊藤 博 明

① 御宿中学校校舎完成



② 御宿町合併50周年記念式典



⑨ 台風7号により大量の海草が打ち上げられました



⑦ 全日本種目別
ライフセービング大会開催

平成17年

10大

ニュース

- ① 御宿中学校 完成(12月)【1月より新校舎で授業開始】
- ② 町制合併50周年記念(3月)
- ③ 夷隅郡が御宿町と大多喜町の2町に(12月)
- ④ ゼロ予算事業実施
- ⑤ 子育て支援センター設置
- ⑥ 8年連続海水浴場無事故(死亡)達成
- ⑦ 全日本種目別ライフセービング大会 初開催(6月)
- ⑧ 2005ビーチバレー・ムーンカップin御宿
過去最大の参加 402チーム総勢1,622人(8月)
- ⑨ 台風7号により大量の海草が打ち上げられる(7月)
- ⑩ 県立勝浦若潮高校御宿校舎体育館焼失(8月)

発行：御宿町 発行責任者：井上 七郎 編集：企画財政課 電話：0470-68-2511(代)
住所：〒299-5192 千葉県夷隅郡御宿町須賀1522 ホームページ：<http://www.town.onjuku.chiba.jp/>

100% ※この広報紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。
古紙100%再生紙